



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3799 URL <http://www.keyware.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三田 昌弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 野本 萬年 (TEL) 03-3290-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,973	4.7	173	122.6	134	308.7	127	446.6
25年3月期第2四半期	7,617	10.7	78	—	32	—	23	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 135百万円(550.5%) 25年3月期第2四半期 20百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	15	09	—	—
25年3月期第2四半期	2	55	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,430	—	5,638	—	59.8	—
25年3月期	9,875	—	5,774	—	58.5	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,638百万円 25年3月期 5,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	17,600	7.8	600	11.9	530	0.8	530	△9.2	62	33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	9,110,000株	25年3月期	9,110,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	969,399株	25年3月期	607,530株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	8,421,009株	25年3月期2Q	9,109,970株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(4) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
4. 補足情報 .....	13
(受注の状況) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、外需においては、米国は数四半期に渡り民需が堅調であり、欧州は輸出主導で緩やかに回復基調となっておりますが、新興国の景気拡大は鈍化傾向が継続しております。一方内需においては、景気対策関連事業の執行に伴い、公共投資が本格化し、国内景気は上昇傾向が継続しております。

経済産業省の特定サービス産業動態統計によれば、情報サービス産業の8月の売上高は、前年同月比0.6%増と2ヵ月ぶりの増加となりましたが、売上高全体の半分弱を占める「受注ソフトウェア」は同比2.0%減少いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、受注高は8,268百万円(前年同四半期比382百万円増、4.8%増)、売上高は7,973百万円(同355百万円増、4.7%増)、営業利益は173百万円(同95百万円増、122.6%増)、経常利益は134百万円(同101百万円増、308.7%増)、四半期純利益は127百万円(同103百万円増、446.6%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

## ① コンピュータソフトウェアの開発を受託して行う事業

## a. 公共システム開発事業

受注高は2,386百万円(前年同四半期比49百万円減、2.0%減)、売上高は2,472百万円(同142百万円増、6.1%増)、営業利益は112百万円(同52百万円増、87.0%増)となりました。

受注高につきましては、前年同四半期を下回る結果となりました。売上高につきましては、通信系において減少はあったものの、官公庁、金融、報道系において、案件獲得を積極的に推進したことにより好調に推移し、損益面においても前年同四半期比で増益となりました。

## b. ネットワークシステム開発事業

受注高は1,033百万円(前年同四半期比214百万円増、26.3%増)、売上高は902百万円(同138百万円増、18.1%増)、営業利益は43百万円(前年同四半期は18百万円の損失)となりました。

航空宇宙系、ネットワーク監視系各分野において、継続・新規案件の受注獲得を積極的に推進したことにより、受注高、売上高ともに前年同四半期比で大幅に増加し、損益面においても利益計上となりました。

## ② お客様の経営課題を解決するための経営とITの統合コンサルティングからシステム開発・運用・保守に至る各フェーズで最適な情報技術を請け負う事業

## a. システムインテグレーション事業

受注高は882百万円(前年同四半期比182百万円増、26.0%増)、売上高は982百万円(同193百万円増、24.6%増)、営業利益は26百万円(前年同四半期は84百万円の損失)となりました。

運輸系においては、大型のリプレイス開発案件の受注獲得を推進したことにより好調に推移しました。医療系においては、電子カルテ、オーダーリング案件を主軸に、継続・新規案件の受注獲得を積極的に推進したことにより、受注高、売上高、収益ともに好調に推移いたしました。

## b. ITサービス事業

受注高は2,005百万円(前年同四半期比158百万円減、7.3%減)、売上高は1,933百万円(同50百万円減、2.5%減)、営業利益は83百万円(同8百万円増、11.6%増)となりました。

インフラ構築およびERP系の業務において、継続・新規案件の獲得を積極的に推進いたしました。受注高、売上高ともに、前年同四半期を下回る結果となりました。損益面においては、民需系の開発業務が好調に推移したことにより、前年同四半期比で増益となりました。

c. サポートサービス事業

受注高は472百万円(前年同四半期比33百万円増、7.6%増)、売上高は426百万円(同3百万円増、0.8%増)、営業損失は24百万円(前年同四半期は13百万円の損失)となりました。

SO(System Outsourcing)業務において、継続・新規案件の獲得を積極的に推進したことにより、受注高、売上高ともに、前年同四半期比で増加いたしました。損益面においては、既存顧客からの発注単価低下等の要因により、損失額が拡大いたしました。

③ その他

拠点として地域性をもち独立した経営単位のセグメント、および報告セグメントに含まれない機器販売等であります。

受注高は1,487百万円(前年同四半期比159百万円増、12.0%増)、売上高は1,255百万円(同72百万円減、5.4%減)、営業利益は60百万円(同1百万円増、2.5%増)となりました。

各拠点において受注高は、継続・新規案件の獲得を積極的に推進したことにより好調に推移いたしました。売上高は前年同四半期比で減少となりましたが、損益面では、受注獲得による稼働率の向上などにより、増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は5,263百万円(前連結会計年度末比520百万円減、9.0%減)となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は4,166百万円(前連結会計年度末比75百万円増、1.8%増)となりました。主な増加要因は、社内基幹システムの開発に伴うソフトウェア仮勘定の増加であります。

③ 流動負債

流動負債残高は2,375百万円(前連結会計年度末比616百万円減、20.6%減)となりました。主な減少要因は、短期借入金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は1,416百万円(前連結会計年度末比307百万円増、27.7%増)となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加であります。

⑤ 純資産

純資産残高は5,638百万円(前連結会計年度末比136百万円減、2.4%減)となりました。主な減少要因は、「従業員持株会信託型ESOP」の導入に伴う自己株式の取得による減少であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、607百万円(前連結会計年度末比31百万円減、4.9%減)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、たな卸資産の増加(265百万円)などがあったものの、税金等調整前四半期純利益の計上(161百万円)、売上債権の減少(761百万円)などにより、630百万円の増加(前第2四半期連結累計期間は404百万円の減少)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、無形固定資産の取得による支出(146百万円)などにより、178百万円の減少となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、長期借入金による収入(487百万円)などがあったものの、短期借入金の純減(550百万円)、長期借入金の返済による支出(150百万円)、「従業員持株会信託型E S O P」の導入に伴う自己株式の取得による支出(189百万円)などにより、483百万円の減少(前第2四半期連結累計期間は249百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成25年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(従業員持株会信託型E S O Pの導入と会計処理)

当社は、当社グループの従業員に対する福利厚生制度を拡充するとともに、株価上昇へのインセンティブ付与により従業員の経営参画意識を一層高め、当社の中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として、従業員向けインセンティブ・プラン「従業員持株会信託型E S O P」(以下「E S O P信託」という)の導入を決定し、平成25年8月19日付けで信託契約を締結いたしました。

E S O P信託による当社株式の取得および売却については、当社がE S O P信託の債務を保証しており、経済的実態を重視し、当社とE S O P信託は一体であるとする会計処理を行っております。したがってE S O P信託が所有する当社株式については、四半期連結財務諸表において自己株式として処理しております。また、E S O P信託の資産および負債ならびに費用および収益については、四半期連結財務諸表に含めて計上しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日におけるE S O P信託が所有する当社株式の数および簿価は、361,800株、186,816千円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	638,868	607,591
受取手形及び売掛金	4,476,856	3,715,157
商品及び製品	164,113	199,694
仕掛品	235,426	464,911
その他	273,026	279,417
貸倒引当金	△3,981	△3,102
流動資産合計	5,784,310	5,263,670
固定資産		
有形固定資産	154,787	145,150
無形固定資産		
のれん	590,341	570,834
その他	245,983	336,772
無形固定資産合計	836,325	907,607
投資その他の資産		
投資有価証券	2,878,820	2,858,680
その他	223,182	257,197
貸倒引当金	△1,698	△1,698
投資その他の資産合計	3,100,304	3,114,179
固定資産合計	4,091,417	4,166,937
資産合計	9,875,728	9,430,608
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	733,203	661,316
短期借入金	750,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	335,000
未払法人税等	26,632	34,561
賞与引当金	214,883	418,959
受注損失引当金	6,815	1,058
その他	960,469	724,719
流動負債合計	2,992,004	2,375,614
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,302,766
資産除去債務	91,456	92,416
その他	17,423	21,390
固定負債合計	1,108,879	1,416,572
負債合計	4,100,884	3,792,187

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	3,672,651	3,714,675
自己株式	△159,181	△346,027
株主資本合計	5,757,944	5,613,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,899	25,298
その他の包括利益累計額合計	16,899	25,298
純資産合計	5,774,843	5,638,420
負債純資産合計	9,875,728	9,430,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,617,544	7,973,009
売上原価	6,274,414	6,545,974
売上総利益	1,343,129	1,427,034
販売費及び一般管理費	1,264,991	1,253,134
営業利益	78,137	173,900
営業外収益		
受取利息	1,859	1,839
受取配当金	1,033	1,333
保険事務手数料	2,886	—
助成金収入	3,877	5,109
持分法による投資利益	—	2,508
その他	2,591	5,074
営業外収益合計	12,248	15,864
営業外費用		
支払利息	16,097	20,224
支払手数料	33,297	33,202
持分法による投資損失	6,261	—
その他	1,939	2,328
営業外費用合計	57,595	55,755
経常利益	32,790	134,008
特別利益		
事業譲渡益	—	27,694
ゴルフ会員権売却益	2,243	—
特別利益合計	2,243	27,694
税金等調整前四半期純利益	35,034	161,703
法人税等	11,792	34,655
少数株主損益調整前四半期純利益	23,241	127,048
四半期純利益	23,241	127,048

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	23,241	127,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,837	8,532
持分法適用会社に対する持分相当額	418	△133
その他の包括利益合計	△2,419	8,398
四半期包括利益	20,822	135,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,822	135,447
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	35,034	161,703
減価償却費	74,588	61,746
のれん償却額	19,507	19,507
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△15,091	△5,756
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,332	△878
受取利息及び受取配当金	△2,892	△3,172
支払利息	16,097	20,224
持分法による投資損益 (△は益)	6,261	△2,508
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	△2,243	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△132,610	761,698
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△159,240	△265,066
その他の資産の増減額 (△は増加)	△10,247	△4,399
仕入債務の増減額 (△は減少)	△88,250	△71,886
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,871	204,076
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,986	△66,370
その他の負債の増減額 (△は減少)	△111,410	△161,378
その他	△9,198	△22,319
小計	△375,248	625,220
利息及び配当金の受取額	23,069	36,789
利息の支払額	△16,476	△21,716
法人税等の支払額	△36,030	△9,592
営業活動によるキャッシュ・フロー	△404,685	630,701
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,629	△1,071
無形固定資産の取得による支出	△22,443	△146,934
投資有価証券の売却による収入	2,000	5,000
差入保証金の差入による支出	△30,330	△29,997
差入保証金の回収による収入	80,125	403
貸付金の回収による収入	772	300
その他	△20,052	△5,807
投資活動によるキャッシュ・フロー	△556	△178,107
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	△550,000
長期借入れによる収入	—	487,766
長期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
自己株式の取得による支出	—	△189,995
自己株式の売却による収入	—	3,149
配当金の支払額	△22	△84,791
財務活動によるキャッシュ・フロー	249,977	△483,870
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△155,264	△31,277
現金及び現金同等物の期首残高	965,756	638,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	810,491	607,591

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結会計期間から導入した「従業員持株会信託型E S O P」の信託契約に基づき自己株式の取得および売却を行っており、当第2四半期連結会計期間において自己株式が186,816千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は346,027千円となっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					計
	公共システム 開発事業	ネットワーク システム開発 事業	システムイン テグレーション 事業	I Tサービス 事業	サポートサー ビス事業	
売上高						
外部顧客への売上高	2,330,211	764,337	788,373	1,983,083	423,258	6,289,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,610	—	5,040	54,037	159,638	260,325
計	2,371,821	764,337	793,413	2,037,121	582,896	6,549,590
セグメント利益又は損失(△)	60,370	△18,910	△84,492	74,883	△13,227	18,624

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,328,278	7,617,544	—	7,617,544
セグメント間の内部売上高 又は振替高	161,680	422,005	△422,005	—
計	1,489,958	8,039,549	△422,005	7,617,544
セグメント利益又は損失(△)	58,982	77,606	531	78,137

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、拠点として地域性をもつ独立した経営単位のセグメントおよび機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額531千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	公共システム 開発事業	ネットワーク システム開発 事業	システムイン テグレーション 事業	I Tサービス 事業	サポートサー ビス事業	
売上高						
外部顧客への売上高	2,472,551	902,455	982,240	1,933,060	426,735	6,717,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51,112	560	11,732	66,286	180,953	310,644
計	2,523,664	903,015	993,972	1,999,347	607,688	7,027,689
セグメント利益又は損失(△)	112,890	43,357	26,792	83,544	△24,165	242,419

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	1,255,964	7,973,009	—	7,973,009
セグメント間の内部売上高 又は振替高	297,713	608,358	△608,358	—
計	1,553,677	8,581,367	△608,358	7,973,009
セグメント利益又は損失(△)	60,461	302,880	△128,980	173,900

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、拠点として地域性をもつ独立した経営単位のセグメントおよび機器販売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△128,980千円は、セグメント間取引消去および各報告セグメントに配分していない全社費用等によるものであります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

(受注の状況)

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
公共システム開発事業	2,386,821	△2.0	1,712,093	16.4
ネットワークシステム開発事業	1,033,124	26.3	398,846	11.1
システムインテグレーション事業	882,115	26.0	479,197	△7.1
I Tサービス事業	2,005,997	△7.3	1,195,006	△4.2
サポートサービス事業	472,605	7.6	254,949	15.0
その他	1,487,618	12.0	791,295	8.2
合計	8,268,281	4.8	4,831,389	6.3

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。